

## 令和4年度卒業証書授与式 式辞

甲山を臨む本校に降り注ぐ日差しが日に日に暖くなり、春の訪れを予感する今日の佳き日、兵庫県立西宮甲山高等学校 第三十八回卒業証書授与式を挙げていただけますことは誠に大きな喜びでございます。

本日、PTA会長様をはじめ、多数の保護者の皆様のご臨席を賜り本校の教職員を代表して厚く御礼申し上げます。そして、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。なお、新型コロナウイルス感染症対策のためとはいえ、多くの来賓の方々をご招待せず、保護者の皆様にはマスク着用をお願いするなど、まだコロナ前のような状態での卒業証書授与式とならないことを、深くお詫び申し上げます。

さて、ただ今、蛍雪の功成って、本校の卒業証書を授与しました168名の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの在学中の努力と精進に対して心から賛辞をおくります。今、皆さんの脳裏には、甲高での高校生活が走馬燈のようによみがえっていることでしょうか。皆さんの高校生活3年間は、コロナ禍の影響で、制約の多いことだったと思います。そんな中でも、勉強、学校行事、生徒会活動、部活動等、いろいろなことに取り組んできました。悩んだり、つらかったり、喜んだり、そして笑ったり、いろいろなことがあったことと思います。とりわけ、悩んだり、つらかったりしたことを克服して、今日のこの日を迎えられることに、心から祝福の拍手を送ります。ただ、家族や友人、その他多くの人々の温かい励ましと支援があって、この日を迎えられることを決して忘れないでください。

皆さんが高校生活を送ったこの3年間様々なニュースがありました。先ほども話したように新型コロナウイルス感染症の蔓延、ロシアのウクライナへの侵攻、安倍元首相銃撃事件、物価の上昇、全国で相次ぐ強盗事件や闇バイト、最近ではいわゆる「飲食店テロ」と言われる事件など、明るくないニュースがたくさんありました。そこで、皆さんにはなむけの言葉を送る前にこれからの人生の中でどうしても気を付けてほしいことをまずお話しします。

コロナウイルスが広がり始めてしばらくした頃、ワクチンについて様々な間違ったニュースが流れましたね。私はそのことについて、ジェンナーが天然痘のワクチンを開発し、日本でも緒方洪庵がワクチン接種を広めようとしたときに、ワクチンを打ったら牛になってしまうとか、いろいろなフェイクニュースがあったといったお話をしました。コロナウイルスに対するワクチンへの間違った情報が出ていることと似ているという話でした。人々が不安を感じたり、よくわからない新しい科学技術が登場したりするとフェイクニュースやデマが広がりやすいという話をしました。覚えているでしょうか。この先も、皆さんが生きていく中で、そのようなことが起こるかもしれません。ぜひ、何が正しくて、何が正しくないか、何が信頼できる情報で、何がいい加減な情報か、見極めようとする姿勢を持ち続けてください。

皆さんが、本校に入学する前の3月に合格者説明会があり、その時にSNS講演会を行ったのを覚えていますか。SNSの間違った使い方をすると大変なことになるということを、伝えるものでした。ところが皆さんの中にも、高校生活の中でSNSの失敗をした人がいました。幸い大きなことにならず、その人は失敗に気がついて反省していましたが、世の中には

たくさんの落とし穴があります。10年前の2013年には「バカッター」という言葉が流行語になり、その後もさんざん SNS の危険性が言われていたにもかかわらず、最近「飲食店テロ」をしてしまった人がニュースになってしまいました。こんなニュースがあったことをいつまでも忘れずにいて、他山の石としてほしいと思います。

また、闇バイトと言われるものも大変危険なものです。闇バイトに手を染めてしまった人は、闇バイトの元締めのような人から、そのことで脅かされ、その後ずっとやめることができずに、いいようにこき使われて、使い捨てにされてしまう。それから、強盗はとても重い罪です。特に強盗で人を死なせてしまうと、刑法上は死刑か無期懲役しかありません。懲役何年とかいうのは基本的にないのです。甘い言葉にはくれぐれも気をつけてください。簡単に儲かる話はありませんし、悪い人は、最初は優しい言葉で近づいてきます。騙されたり、利用されたりしないように気を付けてください。一方で、皆さんが本当に困ったときには、社会にはいろいろなセーフティーネットがあります。行政だったり、NPO 法人だったり、何かあります。すぐに見つからないかもしれませんが、役所の相談窓口に行ってみたりするなど、一生懸命探せば、力になってくれる団体を見つけることができると思います。一人で悩まないことが大切です。

さて、先ほどは3年間のあまりよくないニュースの話ばかりしましたが、この3年間には良いニュースもたくさんありました。サッカーワールドカップで日本がドイツやスペインといった強豪国に勝利したニュース、大谷翔平選手の大リーグでのベブルース以来の二刀流での活躍、将棋の藤井聡太竜王の活躍、東京オリンピック・パラリンピックや北京オリンピック・パラリンピックでの選手の活躍、新型コロナウイルスに対してはmRNAワクチンの開発など、良いこともありました。世の中は、良くないことばかりではなく、必ず良いこともあります。

そこで、皆さんにはRで始まる2つの言葉を送ります。これは、皆さんが2年生の時に私が皆さんにお話した言葉です。覚えているでしょうか。

1つめのRは、リフレクション(reflection)です。日本語では内省と訳されます。自分を振り返ることです。自分の体から離れたもう一人の自分が客観的に自分のことを見つめなおすようなことでもあります。困った時、悩んだ時、自分事を他人事のように見ると楽になるかもしれません。何かをしようとするときに、客観的に自分を見て考えれば、間違った行動を防げるかもしれません。

次に、2つめのR、レジリエンス(resilience)です。日本語では、「復元力」や「精神的回復力」と訳したりします。人が生きていく上で、うまくいかないことや辛いことは普通によくあることです。現代社会はストレスを感じたりすることが多いです。困難なことに打ち勝とうとすることは大切なことです。でも、いつも打ち勝てるとは限りません。その時は、受け流すことも大切です。無理をして打ち勝とうとするのではなく、負けてもいいと思ったり、誰かに助けを求めたり、本当にどうしてもだめなら逃げたりしてもいいかもしれません。一度負けても、一度逃げても、しばらく時間をおいてから、別の方法でやり直すとかすればいいかもしれません。とにかく物事を柔軟にとらえて、柔軟に考えることです。良くないことがあっても、いつか何か良いことはあると思うことで、それがレジリエンスにつながります。

今お話しした2つのR、リフレクションとレジリエンス、できれば忘れずにいてほしいです。

38 回生の皆さんはこれからの社会を担っていく人たちです。この甲高でその基礎になる力をすでに身につけていると思います。皆さんのこの先の活躍に期待しています。小さなチャンスも見逃さず、人のために生きること、それぞれの人がそれぞれの幸せをつかんでほしいと思います。

あらためて38 回生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの輝かしい前途を祈念して、式辞といたします。

令和5年2月28日

兵庫県立西宮甲山高等学校

校長 早川 千也